

**令和8年度 世界遺産「新宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群における
持続可能な観光に関する調査委託業務 企画提案公募（審査基準）**

○ 審査方法

次の項目ごとに、その着眼点に基づいて、配点を限度とした評価点を付すことにより行う。

項目	着眼点	配点
① 業務目的との整合性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容全般が本業務の目的に整合しているか。 	5
② デスティネーションイメージ構築のための要素抽出	<ul style="list-style-type: none"> ・単なる既存文献の整理にとどまらず、本遺産群特有の精神性やOUV（顕著な普遍的価値）を、有形・無形の要素として多角的に抽出・構造化する独自のアプローチがあるか。 ・抽出された要素が、今後の観光ブランディングの核として、説得力を持って活用できる形で整理される提案となっているか。 	10
③ 来訪者の来訪動機やニーズ、満足度調査	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のアンケート調査に加え、位置情報データ分析ツールを用いた精緻な動態把握や、SNSのテキストマイニング等を掛け合わせ、定量・定性の両面から潜在的なニーズを深掘りする独自の手法が提案されているか。 ・調査結果が「満足度のスコア化」で終わらず、将来的なターゲット層の再設定や、来訪者の質を高めるための具体的な誘客・マーケティング施策に直結する内容となっているか。 	10
④ 地域住民の意識と保存活用への参画意向調査	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民へのアンケートやインタビューにおいて、多様な属性の声を偏りなく拾い上げるサンプリング手法や工夫が見られるか。 ・単なる実態把握にとどまらず、次世代（子どもたち）はもちろん、地域の大人たちも含めた地域社会全体の「シビックプライドの醸成」にどのようにつなげていくか、住民が主体となる活動モデルの構築に向けた道筋が示されているか。 	10
⑤ 交通アクセス・受け入れ施設の課題分析	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による既存施設の状況評価や、データを用いた二次交通のボトルネック抽出において、客観的かつ精緻な分析手法が示されているか。 ・分析結果が、既存ガイダンス施設の将来的な展示更新、デジタル技術を活用した疑似体験機能の導入あるいは施設網全体の再編に向けた「基礎資料」として十分に機能する実践的な提案となっているか。 	10
⑥ 観光による地域経済・社会への影響分析	<ul style="list-style-type: none"> ・産業連関分析等を用いて、観光消費の経済波及効果や地域内経済循環を緻密に推計するロジックが示されているか。 ・分析結果をもとに、今後の持続可能な観光推進におけるKPI（重要業績評価指標）のあり方や、観光による恩恵を地域へ還元するための具体的な仕組みづくりへの提言が含まれているか。 	10
⑦ 本遺産群のキャリングキャパシティ（許容容量）の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・物理的・環境的容量の算出だけでなく、測定が難しい「心理的（社会的）容量」について、写真合成技術（フォトモンタージュ）等を活用した先進的かつ客観性の高い測定ロジックが提案されているか。 ・算出された上限値が単なる数字として提示されるだけでなく、実際の管理現場で運用可能な「定期的なモニタリング手法とガイドライン」としてパッケージ化される提案となっているか。 	10

⑧ 業務に関する知識、経験、実績、業務の実施・管理体制、経費積算の妥当性等	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の経営状況、業務の運営管理・実施体制等の計画から、業務が確実に実施されると判断されるか。 ・「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会事務局（福岡県）との日常的なやり取りが可能か。 ・業務スケジュールは適切か。 	5
合計		70

評価点は、次の基準によるものとする。

基準	極めて優れている	優れている	普通である	不十分	極めて不十分
評価点 (配点 5 点の場合)	5	4	3	2	1
評価点 (配点 10 点の場合)	10	8	6	4	2